

新型コロナウイルスワクチン接種の手引き（12-15 歳）

新潟県医師会
令和 4 年 2 月改訂

ワクチン接種のメリット・デメリット（別紙リーフレットあり）

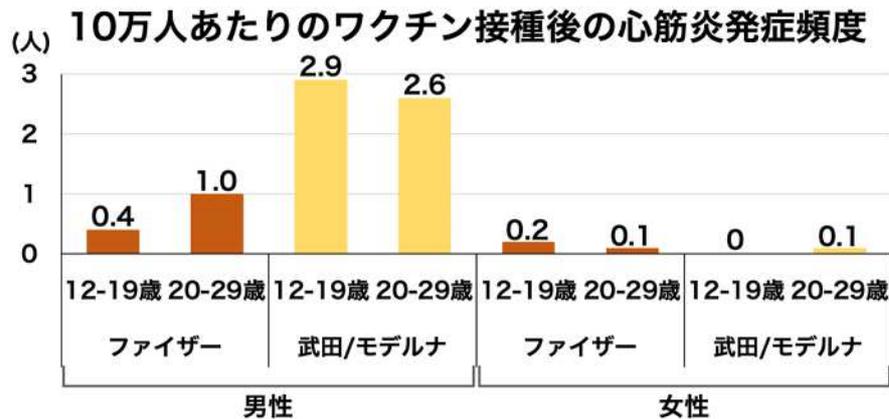
1-1) ワクチンを接種するメリット

- 新型コロナウイルスに感染しづらくなる。
- 万が一新型コロナウイルスに感染しても症状が出にくくなり、また咳や鼻水が出にくいことで飛沫を飛ばす機会が減り、人にうつすリスクが減る。後遺症の発症リスクを減らすことができる。
- 万が一新型コロナウイルス感染症を発症しても、重症化のリスクを大きく減らすことができる。
- 無症状で済んだとしても新型コロナウイルス感染後 2-6 週で発症する可能性のある小児多系統炎症性症候群(MIS-C)の発症リスクを大きく減らすことができる。

1-2) ワクチンを接種するデメリット

- ワクチン接種後、数日間は肩の痛み、頭痛、倦怠感、発熱といった副反応が出ることがある(特に 2 回目の接種後)。
- ワクチン接種後に極めてまれに心筋炎を起こすことがある。武田/モデルナ製のワクチンの 2 回目を接種した男性に比較的多い。(若年男性はファイザー製ワクチンを選択することでリスクを減らすことができる)

国内では 10 万人接種あたりの心筋炎の発症頻度は以下の通り。(新潟県 12-15 歳人口は令和 3 年 10 月時点で約 7.4 万人)。



2-1) ワクチンを接種しないメリット

- ワクチンの副反応がない

2-2) デメリット

- 周囲に新型コロナウイルスが流行している限りは、新型コロナウイルスに対してマスク、手洗い、換気などの感染対策以上には追加の対策ができず、感染リスクをさらに減らすことができない。
- 罹った場合に、味覚・嗅覚障害などの後遺症や重症化のリスクがある(ワクチン接種で後遺症の発症や重症化が減少する)。
- 無症状で済んだとしても新型コロナ感染後 2-6 週で発症する可能性のある MIS-C の発症を予防する手段がない。

ワクチン接種前後の対応において小児特有の留意すべき点

- 特に思春期に、予防接種ストレス関連反応が発生しやすい。特に、注射への恐怖心が強い場合、起立性調節障害を有する場合に起こりやすい。
- ワクチン接種前後の不安、恐怖などのストレスを契機として、特に血管迷走神経反射が起こり、失神することがある。
- 周囲の子どもの様子などの影響を受けて連鎖して生じることもある。
- 予防するためには①事前にワクチン接種に関する十分な説明を行い、不安の除去に努める②落ち着いた雰囲気で行う③接種後 15 分は椅子に腰掛けるかベッドで臥床する、ことが重要である。失神を起こす恐れがある場合には、あらかじめベッドで臥床した状態でワクチンを接種し、接種後 30 分は体調変化の有無を観察する方法がある。

集団接種の際の留意点

- 本人や保護者への十分な説明のための時間確保は当日のみでは困難なため、事前に説明文書を渡して読んでおいてもらう。
- 接種後の有害事象に対して迅速な対応が可能な体制を準備しておく(その場でのアナフィラキシーに対する処置やその後の搬送先医療機関の選定)。
- 接種後帰宅以降の体調不良時の対応も予め決めておく(かかりつけ医への受診など)。
- 接種を希望しない子どもが心理的に負担軽減となるよう、また、特定されづらくなるように、放課後や休日、長期休業期間などに接種日を設定する。
- 特別支援学校など、基礎疾患を有し重症化リスクのある子どもが複数在籍していて、個別接種のためにかかりつけ医を受診する移動の負担が大きい場合には、集団接種を積極的に考慮してもよい。

ワクチンを接種しない子どもが差別やいじめを受けない配慮

- ワクチン接種は強制ではないこと
- 様々な理由でワクチン接種ができない、もしくは希望しない人もいて、その判断は尊重されるべきであること

を子どもと保護者に理解を求める

参考文献

- 事務連絡. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を生徒に対して集団で実施することについての考え方及び留意点等について（令和3年6月22日 文部科学省・厚生労働省）
- 予防接種後の失神に対する注意点について. 日本小児科学会予防接種感染対策委員会 声明（平成22年9月27日）
- 12歳以上の小児への新型コロナウイルスワクチン接種についての提言. 日本小児科医会（令和3年6月16日）
- 新型コロナワクチン接種後の心筋炎関連事象 について～小児科医への情報提供. 日本小児科学会(令和3年10月29日)
- Olson SM, Newhams MM, Halasa NB, et al. Effectiveness of BNT162b2 Vaccine against Critical Covid-19 in Adolescents [published online ahead of print, 2022 Jan 12]. N Engl J Med. 2022;NEJMoa2117995.
- Zambrano LD, Newhams MM, Olson SM, et al. Effectiveness of BNT162b2 (Pfizer-BioNTech) mRNA Vaccination Against Multisystem Inflammatory Syndrome in Children Among Persons Aged 12-18 Years - United States, July-December 2021. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2022;71(2):52-58.
- Collie S, Champion J, Moultrie H, Bekker LG, Gray G. Effectiveness of BNT162b2 Vaccine against Omicron Variant in South Africa. N Engl J Med. 2022;386(5):494-496.
- SARS-CoV-2 variants of concern and variants under investigation in England, Technical briefing 34. Investigation of SARS-CoV-2 variants: technical briefings. 14 January 2022. United Kingdom
- Self-reported long COVID after two doses of a coronavirus (COVID-19) vaccine in the UK: 26 January 2022. Office for National Statistics. United Kingdom

監修：新潟大学小児科学教室（2022年2月改訂）